

## 2019年度 【 丹波 】 ブロック活動報告

ブロック代表理事氏名（ 荒木 雅代 ）

### ■活動目標

1. 研修を通じ、訪問看護の質の向上に努める。
2. 訪問看護ステーション間の連携を図り、情報共有すると共に、課題を明確にする。

### ■活動内容

#### 1. 定例連絡会（管理者・役員会）

回	開催年月日	主な討議事項	出席者数
1	2019年4月20日	理事会報告・2019年度研修会について・情報交換	11名
2	2019年7月20日	理事会報告・研修会・交流会の打ち合わせ・情報交換	13名
3	2019年9月14日	訪問看護部会報告	10名
4	2020年1月25日	訪問看護部会報告・情報交換	13名

#### 2. 総会 なし

#### 3. 研修会

##### 1) ブロック独自研修

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
在宅における緩和ケア	2019年7月20日	三田総合福祉センター	森裕紀子	64名
化学療法の実際と看護	2019年9月14日	篠山市民センター	石井朋子	31名

##### 2) その他研修会

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
柏原病院オープンセミナー	2019年6月13日	県立柏原病院	合田建 上田サユリ	60名
三田在宅医療福祉連携研修会 「親子で精神疾患を持つ困難 ケースについて」	2019年6月15日	三田総合福祉保健セン ター	藤田宏史 高橋明子 西村匡司 宮城明子	106名
オムツの基礎知識	2019年9月7日	三田総合福祉保健セン ター	茨木素景子	133名
排泄ケアと褥瘡ケア	2019年9月13日	ハートフル春日	ユニチャーム	65名
医療安全管理対策研修	2019年11月16日	篠山四季の森生涯学習 センター	小川麻由美	50名
看護の現場で生かせる認知症 対策	2019年12月9日	柏原総合庁舎	柿木達也	48名
丹波市在宅医療介護連携推進 のための多職種研修	2019年12月12日	丹波医療センター	足立美佐子 他	90名
精神科病院における地域連携 における課題と今後	2019年12月13日	三田総合福祉保健セン ター	岡本一郎	30名
がん看護緩和ケア研修会	2019年12月17日	丹波医療センター	合田 建	95名
医療的ケア児の成人移行問題	2020年1月26日	三田総合福祉保健セン ター	奥谷貴弘 河本邦彦	30名
地域ネットミーティング	2020年2月6日	丹波医療センター		84名
心不全の地域連携を考える	2020年2月13日	神戸三田ホテル	滝村英幸	30名

4. 交流会 なし

5. 地域の関連機関との連携及び会議等の出席に関する事項

会議名	開催年月日	場所	出席者氏名
1. 三田在宅医療福祉介護連携会議	2019年4月25日 2019年5月23日 2019年6月10日 2019年7月18日	中井医院	吉野尚美、林田一子
2. 三田在宅医介護連携会議	2019年5月20日 2020年1月27日 2020年2月10日	三田市役所	ジョーンズかおり
3. 丹波篠山市在宅医療介護連携会推進協議会	2019年7月5日 2020年2月21日	丹波篠山市民センター	赤井文美代
4. 丹波篠山市地域自立支援協議会医療的ケア部会	2019年7月17日 2020年2月19日	丹波篠山障害総合支援センター	赤井文美代
5. 三田防災会議	2019年7月21日 2019年10月6日 2019年11月2日	ゆりのき台コミュニティハウス	伊藤慈子
6. 丹波篠山市精神保健福祉部会	2019年7月26日	丹波篠山市役所	赤井文美代
7. 三田地域看護推進会議	2019年5月16日 2019年7月25日 2019年11月21日 2020年2月20日	三田高原病院 医療福祉センターさくら さんだりハビリテーション病院	保田みつ子、吉野尚美、林田一子、村尾めぐみ、西田恵子、ジョーンズかおり、絹野和代
8. 丹波地域介護サービス事業者協議会	2019年4月22日 2019年5月17日 2019年7月19日	ハートフル春日	加藤久美子
9. 丹波圏域自立支援協議会	2019年8月6日	柏原総合庁舎	赤井文美代
10. 阪神北地域医療構想圏域会議	2019年8月6日 2019年11月29日 2020年2月28日	伊丹シティホテル	保田みつ子
11. 三田在宅医療福祉介護連携会	2019年9月9日 2019年11月11日	三田市役所	吉野尚美、林田一子、ジョーンズかおり
12. 丹波圏域看護業務連絡会	2019年9月30日 2019年12月9日	丹波医療センター 柏原総合庁舎職員福利センター	田倉園、赤井文美代、堀小羊江、加藤久美子、荒木雅代

6. その他の報告内容 なし

■活動の評価

<p>1. 「在宅における緩和ケア」「外来化学療法の見守り」の研修で、在宅での看護のポイントを学ぶことができた。病院との連携も深まり、研修後も個別のケア相談を行っている。</p> <p>2. 定例会、地域での研修等を通して情報共有でき、各ステーションにおいて問題解決や課題の明確化ができた。今後も各ステーション間で情報交換し問題を共有することで、ブロック内全体の課題が明確になるよう連携を継続していく。</p>
---